

# まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ

やる気 で行動 元気 は取り柄 勇気 を持って挑みます

議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に

笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み

健康を守り応援するまち 健康診断を推進



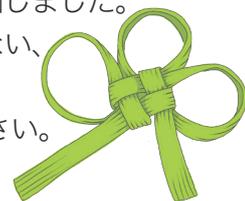
2021年4月 No.3

3月の定例会も終わりこの4月から2年目を迎えます。

皆様の思いを市政に届ける事ができたのか反省しています。3月の定例会の折に、田代はつ江議員と共に「シトラスリボンプロジェクト」を提案し、全議員に賛同頂き手作りのリボンをつけて参加しました。

(シトラスリボンプロジェクトはコロナ禍において差別・いじめ・誹謗中傷などをしない、みんなが笑って暮らせる地域を目指します。)

郡上市におけるコロナハラスメントゼロと共通します。どうぞ皆さんもご賛同ください。



## 令和3年第1回定例会報告 2月26日～3月23日

### ■ 予算特別委員会で当初予算の審議を含め全54議案

01

#### 令和3年度の予算

一般会計 264億7300万円 (前年度比2.7% 7億3100万円減)  
特別会計 110億6902万円 (前年度比6.2% 7億3690万円減)  
企業会計 118億2127万円 (前年度比4.8% 5億4406万円増)

コロナ禍で税収も減る中、厳しい状況が続く市の財政ですが、皆さまにより手助けになれます様に評価・監視を行い、より多くのご意見を頂き提言・立案ができるよう努めます。

02

#### 市高校生等医療費助成事業の支給方法等の変更

高校生等の医療費として郡上市共通商品券で支給していた分を、指定された銀行口座へ現金振り込みとなる  
(詳しくは市HPにて)

03

#### 令和3年度子育て世帯生活支援特別給付金事業 (ひとり親世帯分)

令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている方のほかにも、要件を満たす対象児童一人当たり一律5万円を給付  
(詳しくは市HPにて)

### ■ 新型コロナウイルスのワクチンについて

接種対象者は医療従事者(約1,000人)高齢者向け(約15,000人)一般市民(約20,000人)となります。県内でもコロナ患者の多いところが優先され、予定より遅れての接種となる可能性があります。引き続きコロナ感染対策を宜しくお願いします。



そうなんだ!



新型コロナウイルスのワクチンに関する正しい情報を動画で知ろう!



郡上市ホームページ

田代 まさよ

事務所 郡上市白鳥町中西488-1

携帯 090-5036-3971

fax 0575-84-1835

mail mchk2633m@gmail.com

# 3月定例会 私の質問と市の答弁

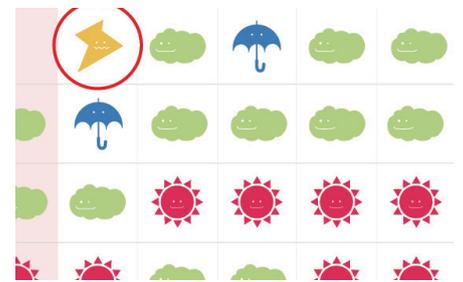
**質問** 子どもに関することは学校で対応してほしいと言う保護者や地域の意識に教師が応えるなか教師の仕事は激務となっている。働き方の改善、教師不足の解消のため、業務の削減をする必要がある。市におけるICTの活用やタイムカードの導入等で在校等時間の適正な把握を確実にを行うための取り組みは

**回答** 熊田教育長

「在校時間の適正な把握」については出退記録用または各自のパソコンに入力するなどICTを活用。令和元年に給特法が改正され勤務時間外に在校する時間の上限が月45時間、年360時間となった。市も在校時間の上限を超える教職員ゼロをめざしている。45時間を超える教員の勤務内容や心身の状況、今後の指導の改善点は市教委に報告をもらい見届けと指導を行っている。対策で成果は上がっているが80時間を超える職員もおり継続した取り組みを行う。

**質問** 4月からGIGAスクール構想が始まり、全小中学生にタブレット端末が貸与される。子ども全員の自宅にインターネット環境は整っているか。また、学業だけでなく、児童の心のケアとしても活用してほしい。「心の天気」の様な仕組みを取り入れてもらえないか

「心の天気」とは、図のように生徒が日々の心の様子を表現するもの。言葉にしづらい、複雑な思いも天気のように表すことで気軽な意思表示ができる。教師は雨や雷のマークがついている生徒のサインに気づくことができる。



**回答** 佃教育次長

インターネット環境がない世帯は6.8%ある。貸与するタブレットは当面は持ち帰らず、授業での活用が中心になる。家庭での端末使用の対応ができるよう、整備のための支援制度も検討している。「心の天気」のようなコンテンツの導入は現時点での予定はしていない。そうしたツールの活用により学校経営はもとより生徒に寄り添った教育ができるよう現場のニーズや他の自治体の状況をみながら導入の是非を検討する。

**質問** 市と市内の郵便局は、「活力ある地域社会の形成・発展や未来を担う人材育成」などに寄与することを目的とした包括連携に関する協定により、多くのことに協力いただいている。(記念ナンバープレートを郵便バイクに設置、マンホールをデザインした切手の作成、ふるさと寄付の返礼品に「郵便局の見守りサービス」など)さらに、局内でのプレミアム商品券の販売を検討していただけないか。局内に防災士も多くみえるため、災害に備えた連携も検討頂けないか

**回答** 可児商工観光部長・古田総務部長・河合市長公室付部長

プレミアム商品券の販売については、メリットもデメリットもあり今後も協議、検討していく。この4月から「こども110番の家」運動に賛同され、郵便局の取り組みは、地域の活性化や子どもたちをはじめとする市民の皆様の安全・安心な暮らしにつながるもので心より感謝する。火災、救急案件を通報頂く「消火・救命に関する覚書」などにより、平時や災害時での協力を通じ安全・安心な暮らしの実現に貢献いただいている。防災士の資格のある郵便局長に対して市防災士会との連携や自主防災会との連携も含め協議、検討したい。

**質問** 「接種券」はどのように送られてくるか。2回目の接種の間隔は。費用負担は

**回答** 和田健康福祉部長

市から1度だけ郵送する。1枚で2回接種できるので大切に保管してほしい。高齢者向けに供給される2回目のワクチン摂取までの間隔は、21日空けていただく。高い効果を得るため決められた間隔でお願いしたい。費用は無償である。